

【国語】目標・内容表

特別支援学校学習指導要領（文部科学省）参照

学部		小学部			中学部		高等部			
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。									
思考力、判断力、表現力等	(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。			(2) 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。		(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。				
段階の目標	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階			
思考力、判断力、表現力等	イ 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。	イ 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。	イ 出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。	イ 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	イ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。			
学部		小学部			中学部		高等部			
内容	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階			
					小学校1, 2年	小学校3, 4年	小学校5, 6年			
思考力、判断力、表現力等	A 聞くこと・話すこと	聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。								
		内話 内容の把握	教師の読み聞かせ ア 音声模倣、表情身振り、簡単な言葉での表現 イ 身近な人の話し掛けに注目、応答	身近な人の話 ア 簡単な事柄と語句の結び付け イ 簡単な指示や説明を聞き、応じる	絵本の読み聞かせ ア 出来事の大体の聞き取り	身近な人の話や簡単な放送 ア 書き留め、聞き返しによる大体の捉え ア 簡単に書き留め、聞き返しによる大体の捉え	社会の中で関わる人の話 ア 話し手が伝えたいことを中心の捉え ア 話し手の目的や自分の聞きたいことを中心の捉え			
		内容の検討		ウ 体験したことについて考える	イ 経験したことを基に考える	イ 話す事柄を思う浮かべ、伝えたいことを決定する	イ 相手や目的に応じて、伝えたいことの明確化	イ 目的に応じて伝え合うために必要な事柄の比較、選択	イ 目的や意図に応じて比較・分類し、内容を検討	
		構成の検討			ウ 見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ち	ウ 見聞き、経験したこと、自分の意見が伝わる順序等	ウ 見聞き、経験したこと、自分の意見やその理由が伝わる順序や伝え方	ウ 話の中心	ウ 話の内容	
		表現	ウ 表情や身振り、音声で模倣したり、応答したりすること	エ 挨拶、簡単な台詞	エ 決まった言い方(挨拶、電話の受け答えなど)	エ 挨拶や目的に応じた話し方(自己紹介、電話の受け答えなど)		エ 言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫	エ 自分の考えが伝わるように工夫(資料活用など)	
		話し合い			オ 発音や声の大きさ	オ 伝え合った内容を基にした自分の考え	オ 簡単な役割に沿った話し合い オ 考えをまとめて物事を決定	オ 目的や進め方を意識した話し合い オ 意見の共通点や相違点に着目したまとめ	オ 互いの立場や意図を明確にした計画的な話し合い オ 考えの広がり、まとめ	